

廃炉設備の設備更新について

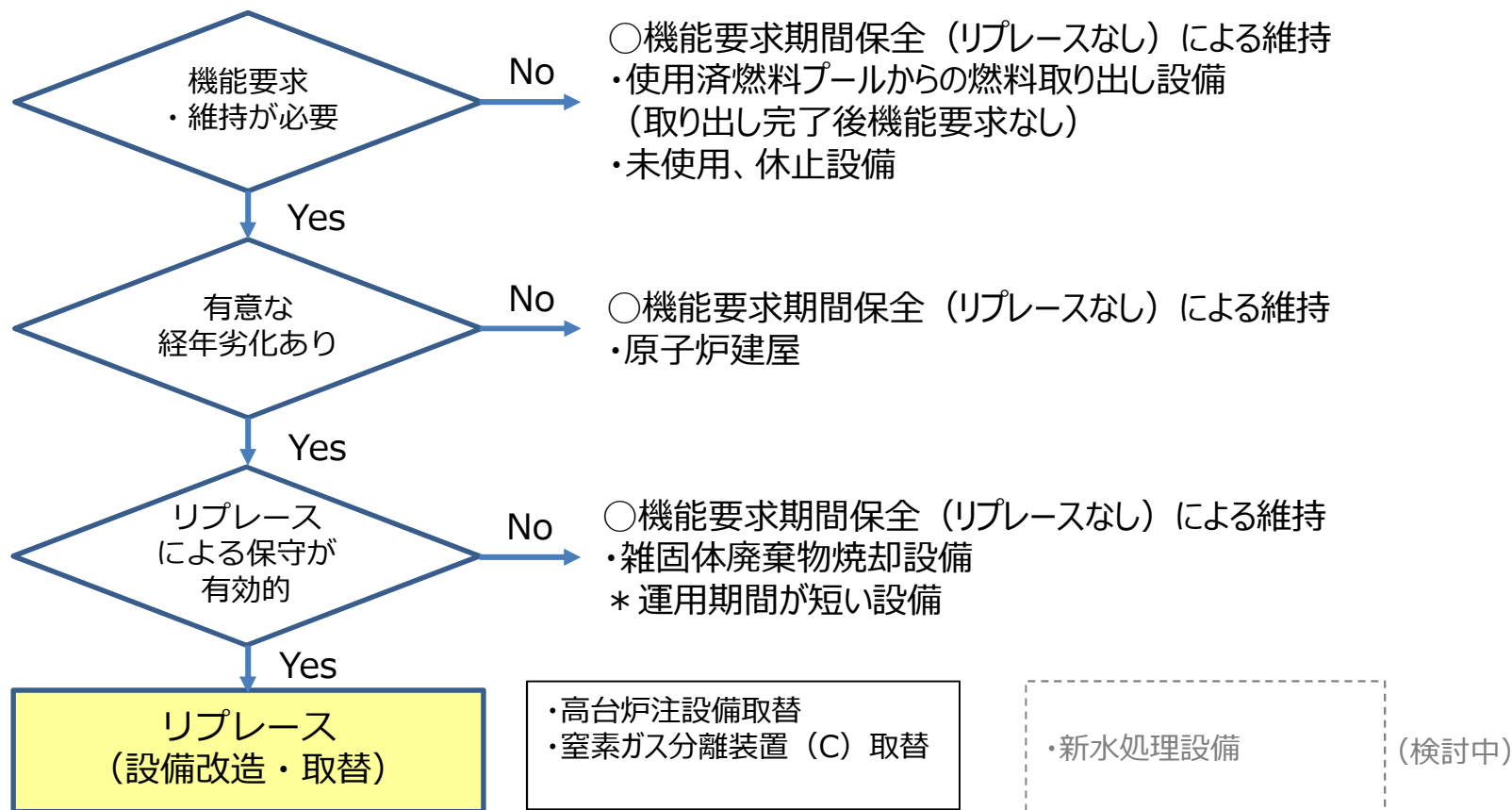
2024年1月26日

TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社

1. リプレース対象工事の抽出方法

◆重要な廃炉設備（工事にあたり実施計画申請を伴う設備）を対象
⇒当面の廃炉作業（10年程度）に必要な保守を検討



2. リプレイス対象工事抽出件名

◆ 原子炉压力容器・格納容器注水設備

工事	実施内容・理由	実施時期 (年度)
高台炉注水設備取替	高台炉注水設備について、震災以降約10年ほど経過しており、現在の原子炉の冷却に必要な注水量に対する供給流量が大きいこと、また設備について、経年劣化が確認されていることから取替を行い、設備の最適化を図る	2025～2027

◆ 原子炉格納容器内窒素封入設備

工事	実施内容・理由	実施時期 (年度)
窒素ガス分離装置（C）取替	窒素ガス分離装置（C）については、震災直後に設置した設備で、一般汎用品で経年劣化が目立ってきていることから新規設置を計画する。また、電源喪失時に機能を維持するために非常用発電機をあわせて設置する	2024